日時：20 ××年××月×日（▲）14:00 ～ 16:00(予定)
気温・天候：16 ～ 18℃・晴れ時々曇り
プログラム：導入編
参加人数：8 名（導入編修了者：6 名、スタッフ：2 名）

特筆事項：導入編 9 月組メンバー修了後初

もっと詳しく！

実施報告書
～通常の日②～
by 農スクールスタッフ

スケジュール

14:00：集合

14:00―14:10：全体で「先週の出来事で嬉しかったこと」を一人一人共有

14:10―14:25：京芋掘り

14:25―14:50：天地返し

14:50―15:00：休憩

15:00―15:20：畝づくり、きぬさやの播種

15:20―15:40：白菜の頭縛り

15:40―16:00：小松菜の収穫、調整

16:00―16:10：全体で「本日の感想」を一人一人共有

12 月に入り、昼間は寒さが和らぎますが、夕方頃からぐっと寒さが増す季節になりました。そのような気候ですが、今週も農スクールを開講しました。朝は太陽も出て明るかったのですが、14 時開催になると雲が出てきて少し暗い中での作業となりました。
本日は、全体で「先週あったこと」を初めに一人一人共有。前回持って帰った大根の食べ方の話をすることが多く、いろいろな食べ方を共有できました。お互いの共通点が少ない中、野菜のこと、その調理の事は共通点として盛り上がれる点なのだと思います。
全体共有の後、まず京芋の掘り起こしを行いました。株の近くにスコップをさし、てこの原理で株を浮かせます。その後、京芋を取り出すのでし、親芋と子芋を分け収穫する流れとなります。ただ、京芋は土寄せなどをしてなかったこともあり、あまり食べられる部分がなく、収穫というより掘り起こしというような作業となりました (写真 1)。その後、京芋が生えていたところを天地返しで耕耘し、2 つの畝を立てました。(畝幅 60㎝、畝間 30㎝)
前回から人数が減ったことで、一人一人の耕耘する面積が増え、腰が痛い、これまでより大変だという言葉が漏れていました。その後、その畝に 50㎝の千鳥植えで 2 粒ずつ絹さやの種をまいていきました。穴をあける係、種をまく係とお互い役割分担をして作業をしている方もいました（K さん、Y さん）(写真 2, 3, 4)。

写真 1

写真 2

写真 3

種まきがひと段落した後、少し休憩をはさみ、白菜の頭縛りを行いました。紐を率先して切る人（M さん）、しばる人と分かれ作業を行いました。一人でしばるのが難しい人は二人で連携してしばっていました。（K さん、KN さん）最後に 1 列小松菜を収穫しました。収穫後、折れている葉、黄色くなっている葉、大きすぎるものなどを分ける作業を行いました。大きすぎるものが多く、一般的に売られているものになるまで多くの食べられない部分が出るのかと驚いていました。(写真 5, 6)

写真 4

写真 5

写真 6

最後の全体会で、本日の感想を一人一人述べました。9 月組の修了生が抜け、作業が大変になったという話をする人が多かったです。また、小松菜の葉を分け、食べれない葉を捨てることに関してショックを受けたという話をする人もいました。
これから冬にかけ寒くなり、卒業するメンバーもいて一緒に作業を行う人数も減ってくるかと思います。少し寂しくなる一方、一人一人と接する時間は増えるかと思います。引き続き、導入編の修了に向け頑張っていきましょう。